



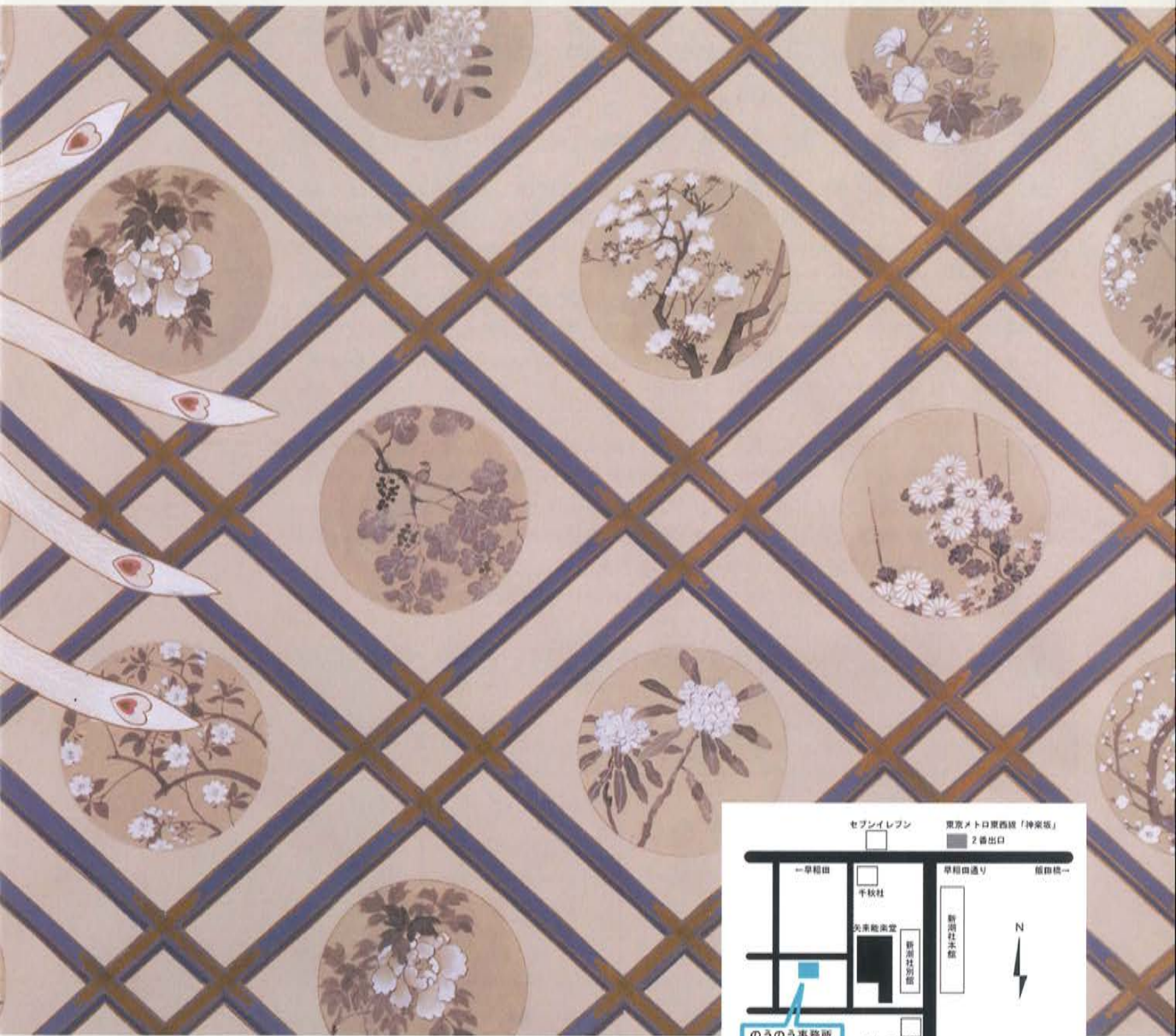
のうのうこ小謡うたい講座

— 付属講座「日本のマナー講座」 —

講師 シテ方観世流 大槻裕一



2017年9月開講
2018年1月まで全10回
定員：各回20名



東京メトロ東西線「神楽坂」駅2番出口（矢来口）より徒歩約3分
都営地下鉄大江戸線「牛込神楽坂」駅A1出口より徒歩約7分

のうこのううたい小謡講座

付属講座 「日本のマナー講座」

「小謡(こうたい)」とは、祝言・宴席・追善・折々の行事などに際し、謡曲の中から場や時節に適した短い一部分を抜き出して謡うものです。

今期の「のうのう講座」では、毎月、その季節に応じたテーマを設け、それに因んだ小謡を取り上げて、実技とともに学んでいきます。

小謡のお稽古前には、小笠原流礼法にのっとり、季節の伝統行事に合わせたマナーとその由来、室礼しつらいを礼法師範より学びます。オリエンピックイヤーを前に、やまところ豊かな、美しいふるまいを身に付けましょう。

能楽初心者や謡の稽古経験がない方も楽しく学べます。ぜひ気軽にご参加ください。

期間は今年九月〜来年一月、月二回の全十回。「のうのう舞台」にて開催いたします。チケット制です。一回単位でも受講可能です。

講師プロフィール

◎小謡講座



シテ方親世流 大槻 裕一

平成九年、大阪生まれ、現在同志社大学文学部在学中。

師父は人間国宝大槻文蔵、平成十一年、仕舞「老松」にて初舞台。十七年、「俊成忠度」で初シテ。平成二十五年、大阪能楽界の第一人者である大槻文蔵の芸養子となり大槻裕一を襲名。

同年「翁・父之尉延命冠者」を勤める。

平成二十七年、大阪城薪能を企画・上演。第一回目は「石橋」、二十八年は四日間連続公演を實行。二十七年に「乱」を被く。師父文蔵と「大槻文蔵裕一の会」を主催。



講座概要

- 会場 のうのう舞台 新宿区矢来町 47-15 のうのう事務所 3F
東京メトロ東西線「神楽坂」駅2番出口（矢来口）より徒歩約3分
 都営地下鉄大江戸線「牛込神楽坂」駅A1出口より徒歩約7分
- 期間 2017年9月～2018年1月
- 稽古日 月2回・全10回（1回につき1曲ずつ進みます）
- 時間 平日 19:00～20:30
- 定員 各回 20名（チケット購入時に参加日程の予約をお願いいたします）
- 料金 チケット制 3,500円/1回券（税別・テキスト代含む）
 30,000円/10回券（税別・テキスト代含む）

全10回、通し券としてお一人で使用することも、ご友人と分けてお使いいただくことも可能です。ただし、各回ごとに、参加される方のご本人名義でのご予約が必要となります。各回20名の定員がございますので、ご予約はチケットご購入時にお願いいたします。

※講座開催当日より5日前以後のキャンセルには、キャンセル料がかかります。ご注意ください。
 （例：9月11日のキャンセル期限は9月6日）

- その他
- ・服装は自由ですが、白ソックス（白足袋も可）を必ずご持参ください。
 - ・動きやすい（正座や正座でのお辞儀をしやすい）格好でお願いいたします。
 - ・持ち物は筆記用具のみ。いずれの講座もテキスト等は配本します。
 - ・小謡講座のテキスト代およびマナー講座の材料費は受講料に含みます。
 - ・10回券ご購入後の一部払戻しはできません。
 - ・謡の経験の有無は問いません。お気軽にご参加ください。

受講申し込み・お問合せ **のうのう事務所** TEL 03-3266-1020（平日 11:00～17:00）

日程		テーマ	小謡（課題曲）	付属講座「日本のマナー講座」
9月	11日（月） 21日（木）	月を愛でる	「小督」 「三井寺」	仲秋の名月、重陽の節句など、秋の風習を中心に、その由来と月や紅葉の鑑賞の仕方、室礼。
10月	18日（水） 26日（木）	紅葉狩	「紅葉狩」 「龍田」	一葉に表す折々の言葉。葉書、一筆箋、のし紙の書き方。
11月	8日（水） 16日（木）	香華	「融」 「清経」	亡き人を偲び、見送る際の作法。
12月	5日（火） 21日（木）	お年取り	「竹生島」 「難波」	一年の中で最も日本を感じる季節…暮れから新年にかけての行事とその由来、室礼。
1月	18日（木） 31日（水）	雪の宴	「葛城」 「猩々」	寒中見舞、節分、ひなの節句など、冬から早春にかけての行事と室礼。